

## 矯正歯科に来院された患者様へ

1. 現在、矯正歯科では、「顔面非対称を伴う下顎前突症症例の外科的矯正治療後の長期の水平的安定性について」という研究を行っています。これは、顔面非対称を伴う下顎前突症と診断された患者様の外科的矯正治療前後及び装置除去後2年以上の正面レントゲン写真などを用いて比較検討することによって、水平的な手術移動量と術後変化量の関連性を明らかにし、術後の長期安定性を評価することを目的としています。
2. 調査の対象となるのは当院にて、1981年10月1日から2013年12月31日の期間で矯正診断を受けた患者様です。
3. 性別、年齢、歯列の状態などについて、調査担当者が対象となる患者様の症例調査票を作成します。
4. 症例調査票には、住所・氏名などの患者様の個人が特定される情報が入力されることはありません。
5. 本研究の成果は学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前や個人を特定する情報が公開されることはなく、個人情報を守られます。
6. 本研究について質問あるいは疑問がある場合には、下記研究責任者あるいは問い合わせ窓口まで御連絡ください。
7. 本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ています。

問い合わせ窓口 東京歯科大学千葉病院 矯正歯科

043-270-3903  
研究責任者 野嶋 邦彦